理強

%増

て、都道府県への報告が必要となる。2022年には報告が義務化される。また隔離せず除去作業した業者には直接罰も創設する。

今回、MVJが設備を増強するのは24時間体制で稼働する東京・新木場の中間処理施設「東京エコファクトリー」。非飛散性アスベストの受け入れ体制を強化するため、従来の専用コンテナ2個に加え、新たに輸送しやすい汎用型輸送用コンテナ1個を追加。一時的な積み替え保管量の上

法改正を機に、建設解体現場からのアスベストの受け入れを増加する

三重県の最終処分場に陸送する輸送能力も強化する。運搬業者と提携して効率的な物流体制を構築し、月間の積み替え保管量を同50%増の500立法以超にする。

同社によれば、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部の解体現場に作業の遅れが発生。非常事態宣言が5月25日に解除され、徐々に解体作業が従来のペースに回復し、建築廃材などの受け入れが増えているという。同施設は首都圏の解体現場で発生した取り扱い基準の難しい飛散性アスベストや、鉄スクラップなども回収・処理している。

面から飛散するがあり、アスベス使用した全ての建対象。一定規模のについて元請け業

と反発性が最もアタイプの3種アタイプは、同仔ソール素材と反発性が約56らかさが約29上した。素材タイプがエチ塩ビニル共重合VA)、ライトン系のエラストマー、コアがラバーをベースに採用した。

バレーボールなどの競技用シューズへも搭載予定。同日オンライン会見を開いた水野明人社長は「ミズノエナジーを搭載したシューズ全体で、100万足以上販売していきたい」と意気込んだ。

用量 力G
開始 部電
中P

(愛知県春日井共同で、一括いる工場や商集合住宅の各ナントの個別の電気使用量の自動検針サービス「スマート子メーター」を本格的に始めたと発表した。

スマートメーター(通信機能付き電力量計)を一括受電施設の子メーターとして設置、30分ごとの検針データをクラウド上で確認できる。サービス料はメーターの台数などで異なり月額数百円程度。

検針データをダウンロードし、電気使用量の算出などに活用が可能だ。一括受電の顧客は従来目視で検針して日々の使用量算出などを行っていたが、自動化で負担を軽減できる。

ホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)にリアルタイムで検針データ提供を行う通信機能も持ち、電力の効率利用につながる。

の集大成」

時代を象徴す関係者の尽力たい」と話し国内外への展開を視野に、編成を柔軟に構成できる〝標準車両〟のコンセプトを提示してから6年。やり残したことは、と

SはJR東海の小牧研究施設(愛知県小牧市)と国内鉄道車両関連メーカーの技術を結集して実現した。歴代の新幹線同様に駆動システムや軸受といった重要部品は複数社から調達。開発を通じて業界他社と切磋琢磨する

障予兆検知

幹線鉄道事業本部車両部車両課の福島隆文課長は「メンテナンスや車両の開発に役立てたい」と話す。営業車の開発に貢献した確認試験

次電池などの技術は日進月歩だ。金子社長は「一つの技術を極めれば、次の課題が見えてくる」とも話す。福島課長はスピード向上の可能性こそ否定するものの「継続的な技術開発が重要だ」と今後に向け、いずれかのタイミ

アメニティー

構造改革にめど

國井さん

接費の低減など、構造改革にめどが立った。社内で一番インパクトのある『社長交代』を行う」と、胸のうちを明かすのは、ノーリツ社長の國井総一郎さん。

▽…このほど11年ぶりの社長交代を発表。コロナ禍という未曽有の危機の最中ながら「成長事業と位置付ける非住宅分野の方向性が見えてきた」という。

▽…2021年から新たな中期経営計画を始動。「売り上げがとえ3割減ったとしても、利益を出せる体制になりつつある」と、次代へバトンをつなぐ。(神戸)

料金

Abema TVと協業

大阪ガスは1日、インターネットテレビ局を運営するAbemaTV(アベマTV、東京都渋谷区)と協業し、新電気料金メニュー「ウイズABEMAプラン」を設定、受け付けを始めたと発表した。他企業と協業する電気料金メニュー「ウイズプラン」の第3弾。契約者はアベマTVの有料プラン「ABEMAプレミアム」を実質無料で利用できる。

新メニューは一般家庭の月370キロワット時の電気使用時の試算で、年間1万1520円(消費税込み)安くなるという。ウイズプランはradico(東京都中央区)、吉本興業と協業してきた。

◆子会社を10月合併

日本瓦斯(ニチガス)完全子会社の東彩ガス(埼玉県越谷市)と新日本瓦斯(同北本市)を10月に合併すると1日発表した。東彩ガスを存続会社、新日本瓦斯を消滅会社として吸収合併する。2021年末までにニチガスと子会社4社を導管部門と小売部門のそれぞれの組織に集約する事業再編の一環。

◆8月に運航再開

スターフライヤー

4月21日から運休中の北九州ー那覇線を8月に再開する。夏の観光需要に応える。1日1往復で北九州10時45分発、那覇13時半発。運賃は7500円から。感染予防として搭乗はマスク着用。期間中の同路線の利用者には北九州空港の駐車場料金が最大48時間無料となる割引券を空港で渡す。

有力企業の製品・技術〈順不同〉

京二

京二は約14年前から中国製切削工具の輸入販売を展開。コロナショックによって安価な中国製工具、特に北京ワールドダイヤのPCD・cBN工具の引き合い、売り上げが急増している。これまでも自動車部品分野での採用が多かったが、直近でもディスクローター向け加工で高効率化を目的に超硬工具からcBN工具への切り替えや、高硬度材や難削材が多い電動車関連部品での採用が相次いでいる。

加工費削減に向け、リーズナブルな中国製工具の引き合いはますます増加しそうだ。

兼房

兼房は国内トップクラスのシェアを誇る工業用機械刃物メーカー。鉄鋼、非鉄金属、樹脂、木質などさまざまな材料に対応した各種切削工具を開発、製造し、総合的な切削加工技術を提案する。

ダイヤモンド工具はレーザー刃付けにより、従来の研磨や放電と比較してチッピングを大幅に抑制することで、高品位切削と工具の長寿命化を実現。中でも独自のロウ付け技術を適用した刃先精度調整不要の「多刃ダイヤフェースミル」は、高能率化やバリ抑制および平面度向上に貢献している。

豊田バンモップス

豊田バンモップスは切れ味、寿命ともに従来の常識を超えたレベルで両立した新レジンcBNホイール「テラメイト」を開発した。

2ー3倍という次元の高能率加工と長寿命で、生産性向上とコスト削減を実現する。工具や金型分野(超硬)、宇宙・航空機分野(チタン合金、インコネル)、医療分野(ステンレス、チタン合金)など、難削材も含めていずれの材料にも対応できるロバスト(頑健)性の高さも特徴だ。

住友電気工業

ノリタケカンパニーリミテド

ノリタケカンパニーリミテドは国内最大規模の研削・研磨の総合メーカーとして、研削砥石やダイヤモンド・cBN工具、研磨布紙など多岐にわたる研削・研磨製品をさまざまな製造業に提供している。

近年では砥粒の均質構造とボンドの高強度化により、切れ味と高寿命を両立させたビトcBNホイール「シャープカイザー」や、高硬度金属材料の両頭平面研削において、ドレッシング間隔の延長により生産性向上が可能な「BRZホイール」などの製品で市場ニーズに応えている。

エービーイーダイヤモンド

エービーイーダイヤモンドは1982年にダイヤモンド工具の製造販売で創業して以降、建材から石材、土木、ヒューム管、そして耐火れんがと市場を広げ続け、今の安定した地位を築くに至った。経営理念の次に「品質方針」を掲げるなど、品質改善・保証活動を重視。また、加工対象物の材質の違いにきめ細かく対応し、多品種少量や短納期のニーズにも難なく応じる。

工具の修理・保守にも力を入れるほか、摩耗したブレードやビットを新品並みに再生する技術にも一日の長がある。

新日産ダイヤモンド工業

新日産ダイヤモンド工業のダイヤモンドシート「ポリモンド」はダイヤモンド砥粒とポリイミド樹脂を混練一体成形した高耐熱・高強度な研磨シートである。単層のコーティングタイプとは異なり、砥粒と基材樹脂を一体成形することで、表面から裏面まで砥粒が均一に分散している。このため、擦り切れるまで使用でき、長寿命な加工が可能だ。

超硬合金などの金型、セラミック、ガラス製品、サファイアなどの硬脆材料の磨き加工に適しており、曲面形状の加工も可能である。

日本ダイヤモンド

日本ダイヤモンドは創業100年を超える老舗企業。近年、積極的な設備投資と若手人材育成を柱に経営基盤強化を図っている。土木建築用ブレードから精密加工用ダイヤモンド工具まで、あらゆる産業分野にダイヤモンド・cBN工具を供給。製造拠点のいわき工場では、長年培ったノウハウをベースにユニークな製品開発と迅速かつ的確な技術サービスで市場要求に応えている。研究開発では「グランブルー」「グランプレート」「グランメタル」に続きビトリファイドボンド製品の開発に取り組んでいる。

ダイヤモンド・cBN工具